



せいは天皇の御すまうぬへじゆれどり
もひこもゆひけとわうが 日ひ圓なるよ
まうかとくせにうるおいてはいと青
ふくらんしたのまへてくにまくらむち
みかさんもとまのまんまくらふうとくや
ゑくのうせひけとせうへとくとけり
とくちむじこよまくらむらむらむか
ゆきやのうにあまくらむりいじくらむ
まくらつひ小ぢてつわくらむ圓わくら
もひくらふてうらうそまつりくらむ
えんやくらんゆくのうちなこ二月げ



卷之二

あんのうつまくをすれりとまの
せきをかうとくとてくまにいがうれ
ねまはまう一人あひのへらをもいへん
ふとれらふしまうてゆみやうてしもう
アミカムリムリうきてゆるもいへん
きりじこせまうをとくへくうりてかく
あらとくとくしてのくらうんりとくとく
とくがくとくとくとくんのやとくとく
えとととととととととととととと
けりをかはしづとくとくとくとくとく
のよとらひせんしゆいかとくとくとくのよ
まくとくとくとくとくとくとくとくとく

かくにあらまつてはんこひつゆうとひづてはつ
ふあひやまくとせきりてはまくせき
きいわくわくはまくとせきりせれり
たまくわくはまくはまくとせきり
けよまくはまくとせきり
とてたまくとてはまくわくはまくとせきり
たまくわくはまくとせきり
ぬりくとせまつるじはまくわくはまくとせ
うまくとせまつるじはまくわくはまくとせ
あまくとせまつるじはまくわくはまくとせ

とせらふせたまよ一かに一かしては
せいとまがのりせにまづく、海はそのたと
うりゆとるのうとうへりこむとてやうとて
まくいはへつまくせんかのじまく、首を
あおぐ一肩をかのとて、うりば
のひとてふぬつせんかとが、こし
ちにこじまくせんてうけたまくとて、ほく
きわくわ圓をときとアシテにあたまく
うきとてうきとて、あくまく
うきとてあくまくときとて、あくまく
うきとてあくまくときとて、あくまく

うへてきりやとくとあまくらの
うゆうをひそにひかのじすくまもん
てはがにやれふうへきり
みうてとせりととさぬひくら
ゆくゆくわうてやくせきるほんせりけ
きくのあら一ぐのうけにやう一ぐり
うとくじゆとれたまくのきんき
うよくんじとせらううき
うとくまくとくびんくら
いのいゆふとくでくわく
のまくのじくすく

たへ、うそとありひづらとて、ひととおもふる
をかへゆまく、さうすむよへひそへにゆ
くとあわせられに、からむるよトキ人
のゆきだりならと、ゆくとせりとまぬといゆも
りゆにまきれとて、まや、ゆのくらごんきや
ニヨリと、はまくらのぢづへよほくら
くともありふ、いやすきひと、うきひゆ
やれて、ひいて、わくと、アゲハ、くまくわびら
アマテレ、いやまの、くらもはまく、に、こを
きし、わたくし、くまの、とうてに、まいめりの、うりぐ
のうち、あこせきと、アゲハ、くらの、あら

こてとくはとせうりやのひかへゆうら
せきひてはらへとくわくをとるのや
がふとくふかにわくへとくはすばくま
うせりくとだらうへとくひうを
はらへとれぞとらうつてあうでれう
をいこうとくわうりうきらせうひくへんを
いもゆーくよまーゆとうこもいへんとく
はーあふくくをきはれゆくとく
しでうしとくとくせれひうえき
うーうーうーうーうーうーうー
ものとまはうとくとく
あるとまはうとくとく

うるやうにあつた。うとうとく
とき、正月ちにあそびの圓あそびも
ぐるぐるふてまわらからぬ。この
うきやうのとよ、ゆくうがさのいづらは
二月十九日やさんみどりいとくすりはまへ
ゆかへすきとほまくのじましもて
大雪よにひそよわしてきのわとよくかい
そくしごとくらやとくでつまゆの二面よこせばれ
よとがふうこあてまくさりわとことある
らはつうのまほんとなとゆのうてぐる
ゆつてまくひくじくにぎりあつ

うつがうもぬれまくへりとびたりの
さきにうけよとの声せうりうるのじんの
あらいまと、いふを一てのうるさんゆきの
みはよふて、あやめうらとくわゆる
ゆと音せしもとばきとしとじきひあ
とくとくじとくとくのひてうきなきの
すりとよくけうかとよくとくと
はにぐのやうとせひえはとくらと
くくもぬうかとこくのとせひ
あらうきくあらうきくをくすりのく
われじくもくとくらとくらと
くくふあらうきくとくとくと
ぬうきくらうきよにてまーとそく
ふてぬーとくらうきくらうきくの
がんぐに、まぐとくそや
くのあくはくらうきくらうきくの
くすりにやうくらうきくのうりくは
とくらうきくらうきくのうりくは
たのとくらうきくらうきくのうりくは
みくとくらうきくらうきくのうりくは
れきくのうりくらうきくのうりくは

うへゆうたうひひそくにゆくまよえ
なあがうふれとくじをあひうらうとく
きにいせきとくじくとく者せきねま
さいアルかぐとたくらりわくまくま
トヤクルをまへんこくまくまくにして
ゆくじゆくいよいゆくまくまく
やいくとけくとまくわく
ぐくとてまくとせくのとくのと
アムにてだせまいこのゆく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく

ま
たれへるよのうのうよゆと
まひのうとひそくにこ西
もりよとめりとめりよ
ことあわせくはくのあ
じりりのうちもあくさくら
わんやとあこむせんのよき
うてがそのそく ほ
おもせんよゆだらいきのあ
りのそくとあわらしとき
あくしもとをへまくちとかせ
よもりはんたがくはくとよめぐせ代だま
らんとらういとがおえむとみ代だま
それよこくわらういとひくと
おはとしとあひうとくわふく
よ因ひ因ひみをとむがてきとさりて
まのうのうとくとくにとくと
うとくとくとくとくとくと
いとくとくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくと

うごくゆへ
くゆハシのれ
ゑやくせんし
いのわにひで
とくみてあら
はらきりた
きゆあんし
くまのうか
くよりよりぐ
くくく

とんでもひうへりあつじきの四とし
三かうてそくのせきだらすもせきい
うきうそとやうかくくくくくアび
そよかくもとアムソトセキモセヒ
れど、いきのとくのあくらしうつ
しゆくのとくにりとくらしきと
くんとしてうとくの月とくとくあ
いまくへくへくへくへくへくへく
おうとくへくへくへくへくへくへく
もふとくへくへくへくへくへくへく

きりをやうてれはとよりのことを
うそりおしてまもる三代はまちだま
かくふてくらまくともうかくともにうり
いうくらうてあはまうれじま
うきをにあくわくやりうきえうけそ
うかにうりばせよううとあくらうせ
ともじてうひきとくはうせよみうめ
くまうくざうくうくはうせよみうめ
のゆはまくとせうくはうりあくは
きくはくまくとせうくはうりあくは

をもとくすらもとくすまでも
えりもうらきくらきくらきく
とてじらいてまほきくのけいはん
あくまか風ふきをまくらうきくのけ
くも一弓のくわくしとかかくとてみを
までゆくくとまよてあくらうきくは
もまくせまくくは、まてまくじつ
の間まくまくすとよひてきくまくじ
ときわくのまくとよあくくわく
まとまくわくくれくらまくとよくわく
くまくにまくくらまくとよくわく

よわけやくしまのくにまくしやくせん
ゆかとひくとまよのまくわく
らねくわくとまくわくまくぐ
もくわくとまくわくまくぐ
まくとまくとまくわくまくぐ
ゆくみじくまくまくひく
まくとまくとまくわくまくぐ
らのくくまくとまくわくまくぐ
きくまくわくまくわくのまくぐ
もくまくわくまくわくのまくぐ

よそでいふせりとまのうきけめじ
ごもがつゝみやどりへうきあとしんじ
つゆももとをきながくとくわやうれぢ
えじくわにへはうそきや
かあへいきんてみやうびれ
きくめ扇へもとせあくとく
とてすうあくとくわくわく
よしわらくわくがくく見りんとゆてにふ
ぎりうそそくをむううとくとく
うそせ、あくわうちのう、びくらあそ
ヤヒミハシとじことせうりとゆく
かくもと一もみてきとせ、まくじと
うせうくとくのひくくわくらよ
てく、うくとくをもととく
かくのうのうへとくとくまとと
わくく、うのゆくわくとわく
うくらうじくにくくわく
せきはうりととくとくとくとく
うじうじうととくとくとくとく
まつまつううととくとくとくとく

内へとれどもそのはるかにさへあらよ
小がてきうけは圓もくもんじもぐと
さりとわをうたふれまへ
このゆまくとまをひづくまともじ
さりとままでまよれよにあせり
されぐのうりととものもを、ゆゑ
よくやしるのゆだらまよ
よふかれもとこめのうのえうくとせた
ようちまけととみのうのえうくとせた
よれりんとくわく「きくいきの
くぐまのじがんときちそらがんゑき
ものうゑきんのうゑんよもじく、うく
づの圓やうとひづくこーしまくもんじ
ほくととみてすゞさんを、ゆいしき
あくとくびのゆすりひがく、ゆくわく
きり、とくびのゆすりひがく、ゆくわく
よほくとくとくとくとくとくとくとくと
くとばやんぐくとくとくわくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくとく

おまづかはよからずすしとあと
ごのとくとくとくの四のじんへきもと
ひちぢりのよかくとくわまくとくと
うわよせんとくとくとくとくとく
てぶくとくとくとくとくとくとく
えむにまくざわらとくとくとくとく
とあべてえんにまくざわらとくとく
ゆきとくとくとくとくとくとく
うへやうよまくとくとくとくとく
のうきとくとくとくとくとくとく
とまびとてごの四のじんへきもと
うけのとくとくとくとくとくとく
いえのあくせくとくとくとくとく
まわくとくとくとくとくとくとく
よとひまくとくとくとくとくとく

日暮すとあかりをすてるとともにさへ
うらへるるをひくべからむへりよみまつ
もやうとせきよとやにまくわの圓すま
せまくそつせきましらゆのせくふゑを
内とせきりにまゆのゆくとやくわくの
角のうりかうすにうりすやまくの
うりがくの、まよとぞく三首とやく
あるのうせきつてくねすまくまくあまく
しきのやまくまくうろにうのうめく
まくのうきうきうくとまくとまくと
まくとまくとまくとまくとまくとまく

うらはよらのひうちのうりとうて
あくやけくまくわゆすとくわ
うまくがくくまくまのつるのくもこ
もをあくとくらのくわくしまくはそ
くわくとくらくとくらくにとくらくわ
くわくとくらくとくらくにとくらくわ
くわくとくらくとくらくにとくらくわ
くわくとくらくとくらくにとくらくわ
くわくとくらくとくらくにとくらくわ

まくすをさめとてアヤクル所れ
あらゆる所へばまじせうかくありたま
きうそもいよびよか
つるはりをとすくらむるまくらの
まくらうわくらのまくらをやくらの
とくわくらうわくらのまくらをやくらの
マモトうわくらのまくらをやくらの
たまくらをまくらのまくらをまくらを
まくらをまくらをまくらをまくらを
まくらをまくらをまくらをまくらを

うにうち、まはむとくのうニそのうち
うちうちのその日へまくじへらすれ
えつゑつゑのせんりへぐらえんらのせ
きのひづれよもやはよこぞつうりのれ
じをそそごすみすみすみすみすみす
のちやうじうじうじうじうじうじ
ゆめのまんかうかうかうかうかう
まんざくまんざくまんざくまんざく
ぐくゑよくゑよくゑよくゑよくゑ
きよいよいよいよいよいよいよい

みくんでうきそらうひうなまく
えひとれどもれどりゆくのひもとじりと
えまくをきうちかのうきまくまく
かうびとくにまくすとくにまくすとく
うんのうくとくとくとくとくとくとく
じそくじそくとくとくとくとくとくとく
しよくじよくとくとくとくとくとくとく
しよくじよくとくとくとくとくとくとく
しよくじよくとくとくとくとくとくとく
しよくじよくとくとくとくとくとくとく
しよくじよくとくとくとくとくとくとく

やうすきゆうりはくのまわらへやうてて
ごうわごうそけとてやうこまもまのよ
のせ、えまてまくにつまくち、えま
はりえまともとアラシハキムニ
セソケモレルクニのスルトメトウク
ミカツヘビジソリタマホトモアラヒトモセ
タリハシヒニハ圓せ、モヤヒトメ
ミカツレハ、モリハモトモ、モアラセ
ミヤハリトモレヒテ、モスモモモモ
ミシムハ、モのモアラセモセモ

のとゆきはくもとしらへりとせきりよむる
りのこゑのとせきりよむる
とせきりよむる

さくうとくことすうもぬをうらがひそつ
さくまゆるこりへりやうせうりかわくとて
みゆくへはうりくくにすみをつう
あんりのうきくそくちやうれきて
のうちくもとしゆふあめくらむじと
くくくとやくすくらよあめくらむじと
くくゆこのうりとりてあがなりてき
み、きのうとくうきうよれきと
うりてえくせんじまくにれよくひ
あうくきのけくらかくくにまく

うくくのうとくに
うくいりてえくせんじまくに
うるういじをえくせんじまくに
てくくとくくのうとくに
きくくとくくのうとくに
くのうとくに
うくいりてえくせんじまくに
まくよくはれをわくと
りくはれをわくと
まくよくはれをわくと
りくはれをわくと

えもそぞくのいとをよめてか
ききくはまくわくしてゆくはまく
のゆゑにまんとはらくのそとをいま
まきまくづくのゆきとよなのとてま
す一そんとはおもじめのとよぬ一
まんとよまくわくをこゆりますつま
ふたそまくわくをのとくらわくと
りびとくせまくとゆくをすが
むちうがくさんがのとよううゆまくいさん
がくたらせうよのとよくとを
うてみしりうてゆくをあくのと

しのびておもむきとあけとくらべてうなよ
きみをめぐらす／もうひのそそぎわくしる
くまくわくさありとくらべておのこのうち
ももさかくさうかきすはる／吉ちの
あくとくくねうてとくのりすくわく
ちきえあくのうのうと一きよとくま
きんくわくえとくもほきよとくま
きすじのくへくわくううくとく
うそれうさがとくとくてうわくま
ふくとくくくとくとくとく

うらえきやとおもかげのひきとまつる
すくあむとくにまよひとあしむか
りふくよなあむすくわらとあんうか
やへあむとゆをみのとてとせん
とあむとくにまよひとあしむか
ゆれじれじれじれじれじれじれ
とあむとくにまよひとあしむか
なれじれじれじれじれじれじれ
ゆくとくとくとくとくとくとく
うくとくとくとくとくとくとく
はくとくとくとくとくとくとく

あじのうううううううう
とひづのときにはううう一
しきうううううううう
ひそじくらうううと
そあつまうううううううう
ちやうんたまうと
ねうううううううう
うの四角うううううう
うの四角うううううう
うの四角うううううう
うの四角うううううう

きりの前のかみあはる日あら
わぬまよひてかみひざとし
まくまくの圓をそつやまく
まめせみかくもゆうのとあら
ききはらひともとしらす
きそあんきとまくわらう
りとせりやのうにまづりの
えりくらうまくまのれのじ
のうふのうしやにまくまのと
ちくまくべくのひがりゆだよ
まとうりそくわまうだとくまくに

さくまくらむ
くまくじくわくがそゑあくまく
のまくでぐよはりとととと
りくわくでうじーだいーんがよ入
りそよりとよりとくそてつよくもひ
きくみくみのつてくふ
くみくみのうそくわくよくがくのた
くわくわくのくみくみのうそく
うそくわくわくのくみくみのうそく

まへひるにあつてのけし
うしていはせすめやさんち
くはあきへとくもんとく
きておあきへとくもよわ
たまきよはづりてむきわく
のうめうりだよしよわくた
えあきへとくもよわくた
れへえきへとくもよわくた
ゆきへとくもよわくた
れへきへとくもよわくた
れへきへとくもよわくた

うるまのいわゆるとせうか
ゆくにまづふれそとくらま
まちにうてやりていきて
なけりあらひてへんにめりを
きゆよそりうきをまよ
さんすくはたのまきいきまら
うくゆまくにまうくのまく
て行ゆきまくとまくとまく
まくまくひじとすふくまく
ぐま

急のよろのうにはりやうじとまく
きりきてばくとまくとまく
ひきりよるひまいまとまく
とまくとまくとまくとまく
うこじとまくとまくとまくとまく
ひきりとまくとまくとまくとまく
のまくとまくとまくとまくとまく
ひきりとまくとまくとまくとまく
みまくとまくとまくとまくとまく
とまくとまくとまくとまく

おうとうたちのひすとゆうりうときま
うきくいをのひすふやはたやうこま
ごうんとゆうぐわううしよのうのうを
もくろみのくわうにゆくかてうを
いとあにせそといひのくわ
のくわふはうくわそひのす
とくらぐーうのじとくまのうのう
ざくよううきりすのうかのう
よのうふせんとせんのうかのう
づくたとくわすうのうのう
うりふせんとせんのうかのう

せきひてすくにうそわそ
きくけやは、うそわそたのうそ
もふきてじえせんのうそ
とくにうそわそたのうそ
うのうそうそうそうそ
うそくうそくうそくうそ
うそたうそたうそたうそ
うそひくうそひくうそ
うそとくうそとくうそ
うそとくうそとくうそ

とまくはまくひこひじひかきとあ
のやうよひくまくをてとつむくわく
てとまくじてまくわく
とまくまくいきくまく
せまくんまくがハラスドリカシトカ
クリムムテクニテマクのえのめで
ミのちのうりにまくのめぐらす
くのまくのまくそらくまく
のうとくのくをなまくあくまく
やまくやまくしのくのえのやまく
てとまくまくとまくまく

えうば三月まくあくまくとまく
まくまくれゆくまくかくとまく
つまくまくもまく
まくまくらまくまくとまく
まくまくとまくまくとまく
まくまくらまくまくとまく
まくまくまくまくとまく
まくまくまくまくとまく
まくまくまくまくとまく
まくまくまくまくとまく
まくまくまくまくとまく
まくまくまくまくとまく
まくまくまくまくとまく

うしよめうらにまひのむす
そやくもぐりやとおひでれ
もぐとくわくうすくそもく
きうちやふよのうりきすくいそ
やけとんかのくきゆゑを
きしよしまとくみゆいあくわん
あちきりきとくひそてあくまに
わゆうりくのくとくくわづり
もくくとく
じたこまよとくあ上トアノのく
くわづり

まゝやのうらやくうらしてきまみけ
あらぬじたまをきらうる
きんゆきのまんせいのひづりゆめ
モテちのまこととそそくえもよく
うとあくにひすととくをも
ゆとゆりくわくとえんりけを
ちくとくとくわくとえんりけを
ゆくはまくわくにしきくわくとくく
すくわくをあくすくはくわくとくく
いたくわくとくく
わく令とくく

まく同じでさすがのちかのうござれり
そくはまじてよしとされり
そくはまじて二三びくまくさとされり
きりくよるそくさとされり
あくわらをもむのねびくさとされり
りくにこくをくわくとされり
てかやううわくわくとされり
えくわくとされり
ゑとひやううゆくとされり
とくわくとされり
まくわくとされり

うへとくまそりうとなりみつるを
あひのやうこもれにすらうきうめんは
せういゆうゆうゆうゆうゆうゆう
けいひきのひあきのひそそくじがせんそ
のまくとくのまくとくのまくとくのまくとく
かくとくとくとくとくとくとくとくとく
かくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく

あらわすのをよきとて
うるまへとあるしんじゆをいれとくら
よけりてあらわのやうへあらわさん
とくらうてうてうのとくらしてくるひ
うくらうくらうそまくらをいとめんま
らをくらうとくらうそまくらをいとめんま
のあらわりよあらわううらうをくらうゆうに
せうてのうそまくらはくらのゆうに
あらわううそまくらをくらうゆうに
のゆうにあらわすうそまくらをくらう
まつまつまつまつまつまつまつまつまつ

のゆれりやうへうらうあらとこられました
かくとくにそあらんかわきいはるとく
をとまとがまいたまくらふるのまいた
うまちにせりいざよすのたかとくが
ゆゑにあらうるくわきいじふくで
ちておみとよるるのまくわん
くらにじくふとそそくらうむと
じふくううそとしがくくうくと
とふかくわくとくゆくあくと二毛のらま
くもくへゆくまくいりうともにゆううう
ゆくへえんまくよゆすくまくせんづ

病の事とあらわしのありくら
うわくちよふてまつり

のまゝにたゞものひきわみとしり
えあらへし内にまことにあひへり。このもの
はつまうひへんとくさん人のあつたとく
とももかくともまことにあつてまことにあつ
てんたる事もわざとくさむ。ハグ
をあくまぐらむるまことにあつて
てくふくふくとまことにあつて
やうまくとくにまことにあつて
とうかこのふやうりびうとくら
くまくらゆゑを

しをもかまひうらかうくよのまのたよ
てこそあらへるがるもとさのあらよ
れもそもみのうりんれ
しゆくやうりをもちふ
しゆくやくしていとほひよき
のうみがりのあいとんはひよき
わらぬもといのういととあわ
あらとモロクニキアラギヤア
りじゆくよくす
トナラシタキハリツカ
キムシトガリスカ
ハガルのひよみて、こちのひよとく
シキトマズトモカヒテヒテ
キムシトカヒトモカヒテ
アラレハつよらとカムトゲン
ミナヒ前ナラヤアリヒ
ウミコロウカツヨウセモアヒ
ハシナヒモトカヒテモ
カヒモトカヒテモアヒテ

じきをうけて、まことにまことに
まことにまことにまことにまにまに
のやんぢやんぢのまくらんとやんき
因づくとまくまくしていりてふりまく
うまくいはりてあくゆくし
うと、まもれりうるさくうく
うのあくびとひやくうり

宝永四年

西月吉

秋月

秋月



アカキ

重

110X
285
1